

進めよう！地震への備え

～必ず来る、その日のために～

日本は、いつ、どこで地震が起きてもおかしくありません。
必ず来る、その日のためにできることから始めましょう！

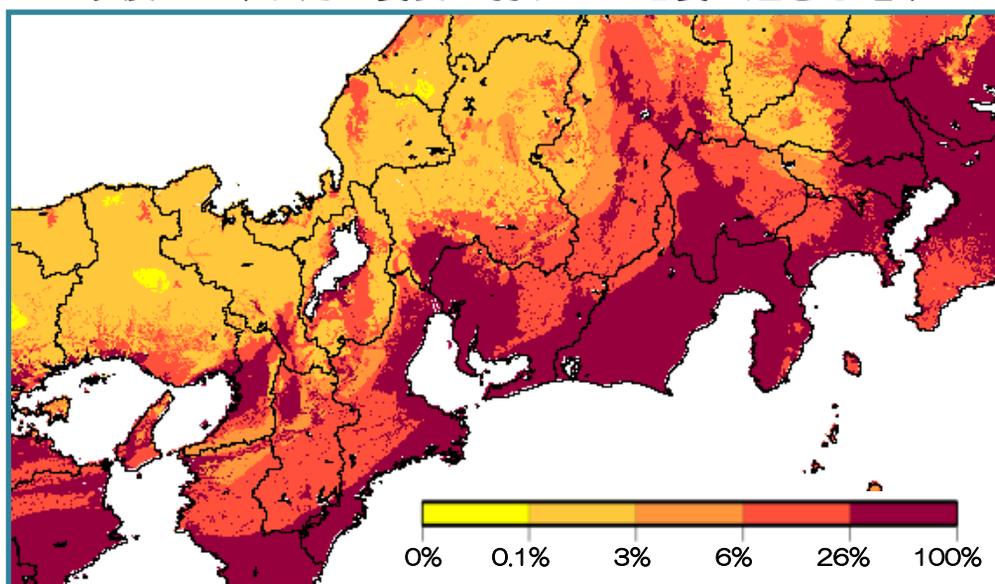
- ✓ 住まいの耐震化
- ✓ 家具の転倒防止
- ✓ 地震保険の加入

建物の倒壊や家具の転倒による圧死から家族を守りましょう。また、部屋の中に家具が散乱すると、自宅で生活できるようになるまで時間がかかりますので、家具の転倒防止を進めましょう。

地震のときの**経済的な備え**になるのが地震保険です。地震のときの**生活再建**をスムーズにするために地震保険のご加入をご検討ください。

※地震保険は、火災保険とセットで加入する必要があります。
建物と家財双方のご加入をおすすめします。

「全国地震動予測地図」（地震調査研究推進本部）
—今後30年以内に震度6弱以上の地震が起きる確率—



出典：「全国地震動予測地図2016年版」（地震調査研究推進本部）

http://www.jishin.go.jp/evaluation/seismic_hazard_map/shm_report/ 左記URLサイトを加工して作成。

一般社団法人 日本損害保険協会
一般社団法人 外国損害保険協会

みんなで支える安心

地震保険

みなさんの保険料を積み立てて保険金をお支払いします

地震保険へのご加入を検討される際は、お近くの損害保険代理店、または、損害保険会社まで。

地震保険Q & A

1

地震保険はどのような役目を果たすの？

地震保険は地震への備えとなり、被災後の当面の生活を支える保険です。地震保険の保険金だけでは必ずしももとどおりの家を再建できませんが、生活再建に大切な役目を果たします。

※地震保険金は用途を限定していませんので、住宅ローンの返済の一部に充てていただくこともできます。



2

地震保険は何を補償してくれるの？

地震保険は、地震・噴火またはこれらによる津波を原因とする損害を補償します。

※地震による火災は火災保険では補償されません。
※地震保険は、火災保険とセットで加入する必要があります。



3

地震保険は何にかける保険なの？

お住まいの建物にかける保険です。また、住居と店舗等が一緒の併用住宅にもかけられます。さらに、住居内にある家財にもかけられます。

※建物と家財は別々に加入します。
*1:住居のみに使用される建物および併用住宅。
*2:30万円を超える貴金属・宝石などは含まれません。



4

契約金額はどのように設定すればいいの？

契約金額は、火災保険の契約金額の30～50%の範囲内で設定しますが、建物は5,000万円、家財は1,000万円が限度額です。



5

保険料はどうやって決まるの？

お住まいの地域(都道府県)や建物の構造によって決まります。また、建物の免震・耐震性能に応じた割引制度があります。



6

支払われる保険金は、どうやって決まるの？

建物や家財の損害状況により全損、大半損、小半損、一部損のいずれかに認定されます。^{*1}全損は地震保険の契約金額の100%、大半損は60%、小半損は30%、一部損は5%の保険金が支払われます。保険金を迅速かつ公正にお支払いするために4区分としています。

※損害の状況が一部損に至らない場合や門・塀・垣・エレベーター・給排水設備のみの損害の場合などは保険金は支払われません。

*1:2017年1月1日以降に保険期間が始まる契約に適用されます。



7

大規模な地震が起こっても、保険金の支払いは大丈夫なの？

地震保険は、法律に基づき国と損害保険会社が共同で運営している保険です。一回の地震による保険金総支払限度額は11.3兆円(2016年8月現在)です。

※この金額は関東大震災クラスの地震が発生しても支払保険金の総額がこの額を超えないように定められており、適宜見直されています。

